



# JEG ニュースレター 144号

www.jegschweiz.com

2014年5月30日発行

## 小さな証

母国に遣わされて 31年  
間、3人の子育てをし  
ながらの働きを オー  
ナー 玲子 宣教師が  
語って下さいました。

## 信徒教育セミナー

スイスJEGの歴史で初  
めて開かれたこのセ  
ミナーにおいて、マ  
イヤー牧師は「聖書と  
イスラエル」の深い  
関係をビジュアルに  
良く解る形で話して  
下さいました。

## ティーンズ学び会

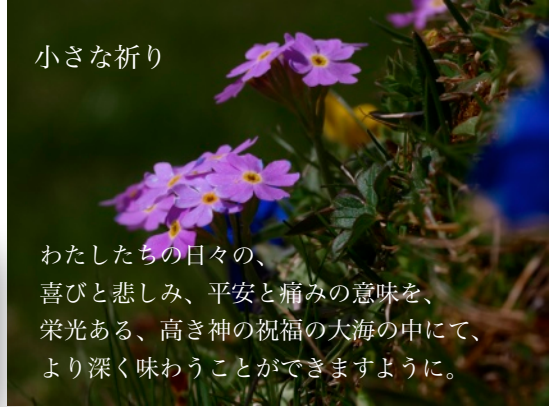
5月25日から、マ  
イヤー牧師によつて  
ティーンズを対象に、  
聖書を学ぶ会が始  
まりました。

## 日出ずる国から

クリスチャン人口1%  
以下という福音の  
入りにくい風土のな  
かで、このスイス  
から遣わされた宣  
教師たちの過去、  
現在、未来を語つ  
ていただきました。

## 小さな祈り

わたしたちの日々の、  
喜びと悲しみ、平安と  
痛みの意味を、栄光  
ある、高き神の祝福  
の大海の中にて、  
より深く味わうこと  
ができますように。



それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

マタイ 28:19-20



イエス様の大宣教命令に従って、2000年もの間、人々に真の人の救いをもたらす福音を携え、世界中に遣わされていった宣教師の多くが異国の土に還りました。今も日本で宣教に励む宣教師に今月号はフォーカスをあてました。

## ミッション特集号

Photo: Max Oehninger



## ちいさな証

## 宣教師としての31年

オーニングー玲子

OMF宣教師



Dieses Frühjahr hat das 32ste Jahr begonnen, dass wir als Missionare nach Japan gekommen sind.

Im Rückblick auf diese 31 Jahre gab es einige Situationen wo wir uns überlegten, „Lass uns wieder in die Schweiz zurückkehren“. Dass wir immer noch in Japan sind als Missionare ist in erster Linie Gott zu verdanken, der uns immer wieder ermutigt und durchgetragen hat, aber

auch der Familie, die Freud und Leid mit uns geteilt haben und die vielen Freunde und Gemeinden, die uns unterstützt und für uns und die Arbeit und für das Heil von Japanern gebetet haben. Dafür loben und preisen wir den wunderbaren Namen des Herrn und danken allen von Herzen.

Vor ein paar Tagen waren wir eingeladen, am 25ten Jubiläumsgottesdienst teilzunehmen der Gyotoku Christus Kirche, die wir noch mit der Schweizer Allianz Mission gegründet haben. Mit den Gliedern der Gemeinde konnten wir zurückblicken auf die vergangen Erlebnisse und feststellen dass es Gott ist, der die Gemeinde baut. Wir als Pioniere der Gemeinde, jedes einzelne Mitglied der Gemeinde und alle die in der Schweiz für das Wachstum gespendet und gebetet haben, sind alle wichtig in der Geschichte die Gott mit der Gemeinde geschrieben hat und dafür sind wir sehr dankbar.

An diesem Tag fand eine Taufe statt eines jungen Mannes der gerade mit der Uni angefangen hat. Dieser Jüngling ist der Sohn einer damals jungen Mutter in den 20ern, die in den Anfängen der Gemeinde zum Glauben kam und getauft wurde. Er wurde als letzter der ganzen Familie getauft. Die Mutter bekam bei ihrer Taufe den Spruch: „Glaube an den Herrn Jesus Christus, so wirst du und dein Haus gerettet werden“. Es dauerte 24 Jahre bis der Mann und alle drei Kinder zum Glauben gefunden haben.



Die Mutter gab dieses Zeugnis, wie Gott sein Versprechen eingehalten hat. Es war aber nicht nur ihr Glaube, sondern all die Gebete, Ermutigungen und Ratschläge die sie von vielen Geschwistern bekommen hat, haben in ihr die Hoffnung nicht sterben lassen. Evangelisation ist Team-Arbeit. Das ist unser erleben in den 31 Jahren als Missionare.

Gegenwärtig sind wir im YouFo-Projekt involviert. Der Boss dieses Projektteams ist der Herr. Dass ich als einzelnes Glied dieses Teams und mit vielen anderen zusammen weiterhin in Japan die Bürden der Missionierung tragen kann, stimmt mich dankbar.

私たちが宣教師として日本に来てから、この春で32年目をスタートさせることができました。

振り返ってみると「もうスイスに帰ろうか」と思ったことも数回あったこの31年でした。それでもまだ私たちが日本で宣教できているのは、神さまの励ましと支えがあったことはもちろん、日本人の救いのために苦楽を共にしてくれた家族、スイスのたくさんの友達・教会の方々の祈りとサポートがあったからこそできたことです。それゆえ、主の御名を賛美し、皆さまに心から感謝します。

先日、スイス・アライアンス・ミッション時代に開拓した行徳キリスト教会の25周年記念礼拝に招かれました。

教会のみなさんと当時を振り返って再確認できたことは、この教会を建ててくださっているのは神さまだということでした。私たちは開拓宣教師として、教会の皆さんはこの教会の一員として、そしてみなさんはスイスの地でこの教会の成長のために祈り・捧げてくださったサポーターとして、この神さまの教会の歴史の中に存在できたんだなあと、とても感謝に思いました。

その日は、大学に入ったばかりの青年の洗礼式が持たれました。この青年は、開拓当初に20代の若い母親として洗礼を受けた方の息子さんでした。彼は彼女の家族最後の受洗者でした。彼女が受洗した時に「主イエスを信じなさい。そうすればあなたもあなたの家族も救われます」というみことばを頂いたのですが、それから24年、ご主人と三人の子供たちみんなが信仰を持つに至ったのです。神さまはどのように約束を守ってくださった、と証ししてくれました。

これは彼女の信仰だけで得た結果ではありません。たくさんの人たちの祈りや励まし、アドバイスがあったからこそ、彼女も希望を持ち続けることができたのだと思います。伝道はチームワーク。これが宣教師として31年過ごしてきた実感です。

今私たちが関わっているYouth Focusプロジェクト。このプロジェクトチームのボスは主ですが、この働きに共に重荷を負ってくれている多くのチームメイトと共に、このチームの一員として日本の地で伝道できることに感謝しています。



行徳キリスト教会創立25周年記念礼拝にて（親指を立てているのが山本牧師）





1、「聖書とイスラエル」をテーマとして、スイスJEG第一回”信徒教育セミナー”が、スイスJEGに集う兄弟姉妹全員を対象として、5月11日（日）の13時15分から14時半までクリショナ教会の大ホールで開かれ、二十数名の参加者と興味深い学びの時を共にしました。

聖書を正しく読み理解するには、ヘブル的視点が欠かせません。また、神様がイスラエルの民を通して人類に実現しようとする壮大な計画も、イスラエルの歴史の知識無くしては推量する事すら出来ません。この信徒教育セミナーはイスラエルの歴史と現在を熟知しておられるマイヤー牧師を講師（日独語）として、ビジュアルに生きた聖書の世界を学ぶものです。この秋、スイスJEG聖地旅行に行かれる兄弟には、非常に大切な準備となります。



第一回セミナー「聖書とイスラエル」の録画は、この度新設されたスイスJEGのHPのサイト「聖地旅行 2014」[www.jegschweiz.com/聖地旅行-2014/](http://www.jegschweiz.com/聖地旅行-2014/) にアップロードいたしましたので、セミナーを受講出来なかった兄弟、もう一度学び直したい兄弟はご利用ください。セミナーに用いられたパワーポイントとアウトラインもダウンロードできますので、参照しながらお聞き下さるとよく理解出来ます。

なお、第二回セミナーは、6月22日（日）13時より行われます。

2、三月から始まったマイヤー牧師による講解説教シリーズ”使徒の働き”は5月25日で第五回を数えました。イエスの福音が、誰によってどのように当時のローマ世界に拡がり、エルサレムの原始教会がどのようなものであったかを学び、我々の住む現代にどのように適応していったらよいかを解りやすく日独両国語で解き明かしていただいています。メッセージの全てはHPからお聞き頂けます。



5月11日、25日 礼拝/愛餐会でのスナップ

5月11日の説教「イエスのみ名にある力」は動画でご覧いただけます。<http://www.jegschweiz.com/礼拝メッセージ-audio-video/>

また、礼拝に先立って、スイスJEGユースバンド”渡り鳥”の力強い賛美がありました。その内の一曲で岩淵まこと作の”父の涙”がHPのTeens/Youthサイトにアップロードされていますので、お楽しみになってください。



3、5月10日（土）スイス中央部Weggisのフォンプランタ美和子姉宅で、午後13時半から、スイスJEG第3回婦人会が開かれました。今回も五名の姉妹が参加し、第1テモテ2章10-11から学びました。その後、貴重な交わりの時を持ちました。

4、ティーンズと若者を対象としたマイヤー牧師による第一回の聖書の学び会/洗礼準備会が、礼拝終了後から愛餐会開始までの約30分を用いて行われました。今後、月に一度、第4日曜日の同じ時間帯に行われることになりました。若者たちが心を開き、イエス様を救い主として受け入れられますようお祈り下さい。

5、ミュンヘン日本語キリスト教会 の安藤廣之牧師は4月26日に右目の網膜剥離の手術を受けられました。幸い手術は成功しましたが、現在も治療中です。どうか順調に治癒されますようお祈りください。



6、6月14日、15日（第3日曜日）にボーデン湖畔ロマンホルン市で、カルチャー/東北支援チャリティーイベント第3回”JAPANTAG”が開催されます。今回のイベントはスイス大使館 からスイス日本修好150周年公式行事と認定され、スイスJEGからは二名の役員が実行委員として参画し、また教会のブースならびにユースのお好み焼きスタンドを出店します。14日（土）午後7時からの講演会では、マイヤー牧師が”スイスと日本”をテーマに講演されます。

どうか、スイスJEGの兄弟の働きが証しとなりますように、スイスJEGの存在が、この機会に多くの邦人とスイス人が知られる事になりますようお祈りください。

このJAPANTAGの収益金は、ふくしまHOPEプロジェクト（キリスト教団体）ならびに石巻・海友支援隊（オアシスライフ・ケアが支援する養殖漁民支援団体）そして宮城県七ヶ浜図書館の文化復興プロジェクトに送られます。みなさまのご支援とお祈りを心から感謝します。公式サイト：[www.japantag.musicplay.ch/](http://www.japantag.musicplay.ch/)

7、オーニングャー宣教師、クンツ・プリスキラ宣教師、ラシェンコ・ベラ宣教師からのRundbrief、工藤篤子メルマガ、井野葉由美メルマガ号、吉村美穂NL、バルセロナ日本語で聖書を読む会月報、デュッセルドルフ日本語教会月報、ケルンボン教会月報、ルーマニア川井牧師の週報、パリ教会パルタージュ、イザール通信、在欧日本人宣教会機関紙、夜越山祈りの家月報、オリブ山便り（イスラエルよりの最新情報）最新号が届いています。お読みにになりたい方は、松林までご一報下さい。





## 日出ずる国から 宣教師編

### 一生涯を捧げる若者を！

千葉県は市川市の  
ラシェンコ・ペラ宣教師から  
OMF®Serve Japan™  
コーディネーター



2月の初めに、「日本における奉仕のコーディネート」の企画を開始しました。この仕事は多岐にわたっており、次のようなことを行

なっています。

OMFの母国の事務所の運営、短期奉仕希望者の志願書の評価、適切な任務地の選択、殆どの若者たちを空港で出迎え、ホストファミリーの元へ送るまでの間、彼らのためにオリエンテーションを行っています。何週間か何ヶ月間の任務を終えた後、帰路の飛行機に搭乗するまでの間に、面談をして終了となります。



日本での宣教を志す世界からの若者と今のところ多忙を極めているので、今うちにオーガナイズをして下さるアシ

スタントが与えられるためにお祈り下さいますようお願いいたします。

特に夏は短期奉仕者が急増するでしょう。日本における任務を通し、福音伝道の大きなビジョンを抱き、収穫が期待されるこの国日本のために、一生涯を捧げてくれる若者が多く与えられるようにもお祈りください。すべての尊い執り成しの祈りに感謝いたします。

### 私の願いと祈り

東京・町田市は松見が丘教会  
のクンツ・プリスキラ宣教師から  
リーベンゼラ・ミッション



4月の第四週にIMPACTチームの若者たちが私を訪問してくれました。リーベンゼラ・ミッションからは、毎年、短期間計画で若者たちのチームが送られ

てきます。今年、日本では始めて10ヶ月間にわたって奉仕してくれるチームが与えられました。

この6人は昨年高校を卒業し、大学に行くまでの1年間を、神様のために捧げたいと希望した有志たちです。

彼らは主に、東北地方で働かれておられる、ある宣教師ご夫妻とともに奉仕をしています。それは、東日本大震災により、多くを失った人々を助け、カブけるためです。

土曜日に私たちは、東京湾に面する江ノ島へ遠足に出掛けました。そこは、見事な場所です。日本人からも愛される砂浜で、その日も多くの人々が足を運んで

きました。そこから橋によってつながっている小さな島には、たくさんのお寺や神社がありましたが、私たちにとっての関心はひたすら、岩場やビーチに向けてお祈りしていました。



日曜日の午前中は、彼らが礼拝の中で讃美したり、証ししたりしました。午後には、年に二回行われる教会の「大掃除」を手伝い、そして、そこに集う若者たちとの交わりの時を持つことが出来ました。

嬉しいことに、IMPACTチームは、彼らのホストファミリーだけではなく、教会全体にとってもポジティブな印象＝IMPACTを残していきました。私は、彼らが私の通う教会に来てくれたことを喜び、感謝な気持ちでいっぱいです。

私の願いと祈りは、神様が彼らを御国の建設のために用いて下さり、もっと多くの若者たちを主のために召して下さることです。

愛する皆様方の尊いお祈りに感謝いたします。老いも若きも日本宣教のために召されること、そして、イエス様と日本人を愛して止まないようなかいがいしく勇気のある人々が与えられることを祈りつつ。愛を込めて。

リーベンゼラ・ミッション日本での働き  
ショートビデオ (2:30分) [http://  
www.liebenzell.org/weltweit/](http://www.liebenzell.org/weltweit/)

若者にフォーカスを当てて

東京都は江東区の  
オーニング・マックス &  
玲子宣教師から

OMF



私たちは現在、OMFの宣教師として、東京都内で二つの働きに関わっています。

一つはヤングアダルトに特化したYouth Focusというミニストリーで、もう一つはブラックゴスペル伝道に重荷を持つ波多牧師と協力して、ゴスペルチャーチ東京というブラックゴスペルで賛美するという特色のある教会を開拓しています。

波多牧師は、教会員でプロのシンガーでもある賛美リーダーの兄弟とDeutという会社を作り、主にブラックゴスペルを通して伝道しています。Deutクワイヤーでは、ブラックゴスペルというノリのいい歌を歌うということから始めて、その歌詞に目が留まり、もっと聖書や神さまについて知りたいと思う方がたくさん起こされています。その人たちが教会の聖書の学びや礼拝に出席するようになり、今は両手いっぱいの聖書の学びグループができています。

Youth Focusとゴスペルチャーチ東京と



Deut 我が家でのYouFoクリスマスパーティーは、とても太いパイプを持つ宣教パートナーという関係で、互いに助け合って伝道しています。

Maxと私のメインミニストリーであるYouth Focusには、OMF宣教師のブラジル人ヒップホップダンサーJPに、この春からはコーヒー大好き中国系オーストラリア人シャロンが加わりました。この夏からは、リーベンゼラー宣教団のドイツ人宣教師の家族がYouth Focusの働きに参加することになっています。

Youth Focusではこちらから若者のいるところに出かけて行って友達を作るといったアウトリーチプログラムの他に、今年からJPのダンスミニストリーが始まっていますが、シャロンが与えられたことによって、カフェミニストリーをスタートさせようとしています。このカフェでは、自分たちの場所を持たず、あちこちの部屋を借りて持たれている教会の集会や祈祷会ができる、教会員にとっての“自分たちの場所”の提供、仕事のない若者のケアができる場所としても考えています。



ダンスミニストリー

これからの私たちの働きのために、続けてお祈りくださると感謝です。

祈祷課題

- ・波多牧師夫妻とのよき協力関係が継続できるように。
- ・現在お借りしている教会が手狭になってきました。新しい場所が与えられるように。
- ・Youth Focusの働きのために。たくさんの若者との出会いがあるように。カフェが導かれるように。
- ・若者伝道に重荷を持つ、日本人の働き手が与えられるように。
- ・Maxと私の健康が守られ、主のために情熱をもって奉仕ができるように。

神さまの祝福が、ウスターの教会に集う皆様の上に豊かにありますように！

収穫のために働き手を！

南国・九州は宮崎の  
ローゼンクランツ・クリスチャン  
& 直美宣教師から  
ジーザスコール宮崎教会



スイスJEGのみなさんハレルヤ！私たちのすばらしい神様を賛美します！皆さま

まのお祈りをいつも心から感謝します。

教会の場所が狭くなり、3月にはオフィスをお借りしているオーナーの許可をもらい、内壁を壊して礼拝の場所を広くすることができました！不思議なことに、壁がブレイクスルーすると、霊的にもブレイクスルーがやってきて、今まで来なかったような新しい人たちが教会にやってくるようになりました。働いてくださる主に感謝します。



ミニストリースクール2期生

4月からは第2期のミニストリースクールが教会内で始まり、10名の生徒が集まりました。クリスチャンになってからの平均年齢が約1年というとてもフレッシュな働き人達です。

イエス様が弟子たちにマタイ9:37, 38で言われたように、「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」ということばは、イエス様を知らずにいろいろな問題で苦しんでいる周りの人たちの状況を見る時、今の日本によくあてはまると思います。私たちの祈りを通して多くの働き手が送られてくるとき、もっとたくさんの日本の人々が福音を聞き、救われることができると期待しています。



3月 2名の洗礼式

いつも物理的、経済的、霊的、牧会的などなどのチャレンジは絶えませんが、主の助けを体験できることもまた感謝です!!JEGの皆様の祝福を心よりお祈りいたします。

Facebookでも近況をお知らせ中です。ぜひ見てみてください！ <https://www.facebook.com/jesuscallmiyazaki>



祈りを聞かれた神様

石川県は内灘の  
マルティン・フィリップ&  
祐子宣教師から

OM Schweiz (Operation Mobilization)



スイスJEGのみなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか？私た

ちのことを覚えてお祈りしてくださってありがとうございます。

私たちは現在**ロゴス・ホープ**号の日本寄港に伴い、激動の日々を送っています。昨日まで長崎に停泊していた**ロゴス・ホープ**号船内に寝泊りし、船内外のイベントの通訳や船内ツアーなど様々な



仕事をしました。寄港準備中はどうなることかと思いましたが、神様が必要なときに必要な助けを送ってくださり、9日間の一般公開期間に3万3千人以上の人々が船を訪れました。



毎日4千人ほどの人々が長い列を作って船に入船し、船上書店でたくさんの書籍を購入していました。また、沢山の人が船内外で船員たちと交わり、何人もの人たちが船内ツアー中の証やイベントでのメッセージに心打たれて涙していました。

58カ国からの船員たちや地元ボランティアの人たちが一生懸命、愛をもってイエス様のことを日本人たちに語っているのを見て、神様が船を用いて人々の心に触れて下さっていると思いました。地元の教会の人たちとも素晴らしい絆ができ、お互いに励まされ、すべてのことについて最善の時を知っておられる神様の業の素晴らしさを改めて体験しました。

明日から**ロゴス・ホープ**号はまた10日間金沢に停泊します。まだまだ沢山の課題があり、目まぐるしい日々が続いていますが、長崎で神様がしてくださったように、金沢でも素晴らしい計画を実行して下さることを信じています。

私たちは昨年9月にスイスから日本に来たのですが、それ以来この寄港のために以前の船での経験を活かして準備してきました。何度も高い壁にぶつかり、本当に船は日本に来ることができるのだろうかと何回もくじけそうになりました。しかし、いくつもの祈りが聞かれ、神様が私たちを絶妙なタイミングで日本に送って下さったと実感しています。



スイスからも沢山の皆さんが私たちのために祈って下さり、支えて下さっています。本当に感謝します。7月末には出産も控えていますが、今は不安よりも楽しみな気持ちの方が大きいです。これからも皆さんの上に神様の豊かな祝福がありますようお祈りしています。

結婚しました！

京都市は

呉 允栄 (おうゆんにょん) 姉から

スイス日本語福音キリスト教会の皆様ご無沙汰しております。皆様お元気でお過ごしでしょうか？

結婚の報告がすっかり遅くなってしま

い申し訳ありません。この度、4月12日に夫が尊敬する牧師の司式により結婚式を挙げました。

夫の家族は皆熱心なクリス



チャンで、現在私達は京都の在日大韓キリスト教会で信仰生活を送っています。

日々の生活や仕事に追われ、慌ただしい毎日ですが、元気に過ごしています。

澤田恵さんは、仕事や演奏活動に忙しいのですが、帰国後もずっと頑張っておられます。岩佐智子さんとは、今年2月に演奏会で偶然お会いしましたが、お元気そうでした。

こちらでは、スイスでの留學生活のようにはいかず、それぞれ時間に追われてしまう事が残念ですが、また必ずスイスにも行きたいと思っています。

皆様の事を覚え、これからもお祈りさせていただきます。お元気でお過ごし下さい。

NL4月号“SLIM特集”を読んで

今月も、SLIMの特別号、すみからすみまで読ませていただきました。先日、SLIM開催中にロンドンに行っていましたので、SLIMから戻られた変えられた皆さんからの生きた証と今回のニュースレターで更に恵みを受けました。ありがとうございます。 S師、米国

SLIMの感想と証を読みつつ、皆さんの奮闘ぶりや示されたことを振り返り、祈りと共に次に進もうとされている姿に本当に励まされました。そう思えるのもニュースレターのお蔭ですね。 S姉、スイス

SLIMカンファレンスも、毎年祝福されて次世代の方々の成長のために用いられている様子をお伺いし、感謝しています。ヨーロッパの諸教会がいよいよよみことばによって、成長し、宣教のために用いられますようお祈りしております。 S師、日本